

注目のイベント

バルーンパフォーマンス&
ワークショップ
「不思議なきのこと
バルーンステッキをつくろう」

カラフルなきのことシャボン玉の
ような透明なバルーンを作ります。

日時：11/16(土)
10:00～、11:00～、
13:00～、14:00～、
15:00～、16:00～

会場：佐野美術館講堂
出演：コンフェッティバルーン hara harari
定員：各回15名
参加費：1,000円
主催：佐野美術館、
静岡県博物館協会
※要申込・先着順
※小学3年生以下は保護者同伴



イメージ

イベントの
見学も
できます!

その他のイベント

2019.10-12

美を競う 肉筆浮世絵の世界展 会期中

- 10／5(土) 講演会「肉筆浮世絵にみる美人画の見方」
- 10／12(土) 担当学芸員のギャラリートーク
- 10／19(土)、20(日) 三泉茶会

常設展示室

植物モチーフの刀装具 【9.7(土)―12.22(日)】

植物をモチーフとした江戸時代の刀装具を中心に、同時代の刀もあわせてご紹介します。

主な展示作品

刀装具

- 朱漆藤蒔絵打刀拵 明治時代
- 枝梅図鐔 江戸時代
- 月竹図小柄 江戸時代

日本刀

- 太刀 銘 肥前国住近江大掾藤原忠広 江戸時代
- 刀 銘 相州住綱広 江戸時代
- 脇指 銘 和泉守国貞／(菊紋)寛文八年二月日 江戸時代



朱漆藤蒔絵打刀拵 明治時代 佐野美術館蔵

新収蔵品より

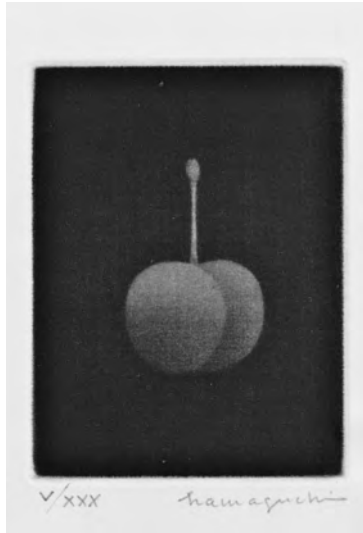
浜口陽三
《ロビーナのさくらんぼ》

昭和56年(1981)

小山内美江子氏寄贈

柔らかな闇の中に、真っ赤なサクランボが一粒。静かな時間を刻んでいます。

浜口陽三(1909-2000)は世界的に高い評価を受ける、銅版画家です。2016年に当館で展覧会を開催した御縁で、このたび15点のメゾチント作品をご寄贈頂きました。浜口は戦後約2年間、静岡県下田の蓮台寺温泉に滞在し、地元の方とも親しく交流したそうです。これから展示を通して浜口陽三の魅力をご紹介します。



連載 其の三十四

渡邊妙子理事長の

ひとこと
いいかしら？

研究棟の風景

昨年秋に、研究棟が出来た。木の香に浸っていると、佐野隆一翁が話されていたことを、なぜか思い出す。「家はね、庭があつて家がある。庭のないのは家とは言えない」と。翁は世田谷の屋敷も、金沢の別荘も大きな庭の中に建物があつた。「家は南向きに建てる。すると座敷から庭を眺めるときに植木は北側になるから植木の裏を見ることになる」と。木は太陽を求め南側に枝葉を伸ばす。研究棟は、りやうげん隆泉苑の南側にあるので、南側から庭木が見られると、少しウキウキした。確かに木々は枝葉を存分に茂らせて、日陰を演出してくれる。あふれる緑は心地よい。そして、これは庭ではないと気が付いた。林なのだ。自然林の風景を醸している。

隆泉苑の座敷に上がって、南側にある庭を眺めると木々がそれぞれに配置され、空間のバランスを以て枝振りを出している。勿論、庭師が、葉の表がつややかな緑を輝かせている。北側ゆえに、幹と枝の曲のある線に葉の表裏を見せる変化が楽しめる。それが研究棟から見ると木々める。南側で葉の表が張り合つて、枝の幹はほとんど目に入らない。

翁はよく庭を散策されていた。木々のそれぞれの趣、どの枝を落とすか、どのようにこの木を育てるか。その時翁の脳裏に浮かぶのは、企業の組織を動かす人々のように思えてならない。庭師はよく言っていた。佐野会長は木を切るのを好まなかった。植木はもつと切らなきやダメなの、に。

INFORMATION
2019.10-12 展覧会スケジュール

さんしんギャラリー 善

さんしんギャラリー 善は、伊豆・県東部の創作活動を支援する目的で、三島信用金庫が100周年記念事業の一環として開設しました。佐野美術館が運営を委託されたギャラリーです。

- 10/1(火)～10/25(金) 山本美知子(インスタレーション)
- 11/1(金)～11/25(月) 小枝真人(陶芸)
- 12/1(日)～12/25(水) 眞野 敦(写真)

お問合せ：さんしんギャラリー 善
〒411-0857 静岡県三島市芝本町 12-3
TEL 055-991-0034 <https://www.sanshin-zen.jp>

眞野敦「アイスランド」



Welcome to Tully's Coffee

タリーズの1杯が満たされた
空間を演出します

タリーズコーヒー
(三島日清プラザ店)
三島市中田町9-30
日清プラザ 1F

(長泉桜堤店)
長泉町桜堤 1-8-15

(沼津店)
沼津市高島本町 1-5
イシバシプラザ B1F
アネックス F2

純日本風な
寛ぎと
おもてなしの心で
お迎えいたします。

吟味を重ねた四季折々の味覚は、
臨河湯より直送の湯の幸を、
一皿の板前が精こめて仕上げます。
深んだ堂裏と掛けのなかで、
心をこやかにお食事をご堪能ください。

お食事処
松頤
SHOW-IN

清流・澤田政廣由來の御食事館

せせら亭

佐野美術館敷地内

TEL055-973-2678 FAX055-976-1181 ☎ 0120-08-2648

[illegible]